

平成23年度 まちづくり懇談会での話し合いについて

大泉学園駅北口地区まちづくり懇談会は、平成23年度の懇談会を8回開催し、アニメを使ったまちづくりのほか、大泉街道歩道部分の整備や駅前再開発に関する検討・要望を行ってきました。本号では、その活動内容の概要をご報告します。

◆平成23年度の懇談会での主な検討内容

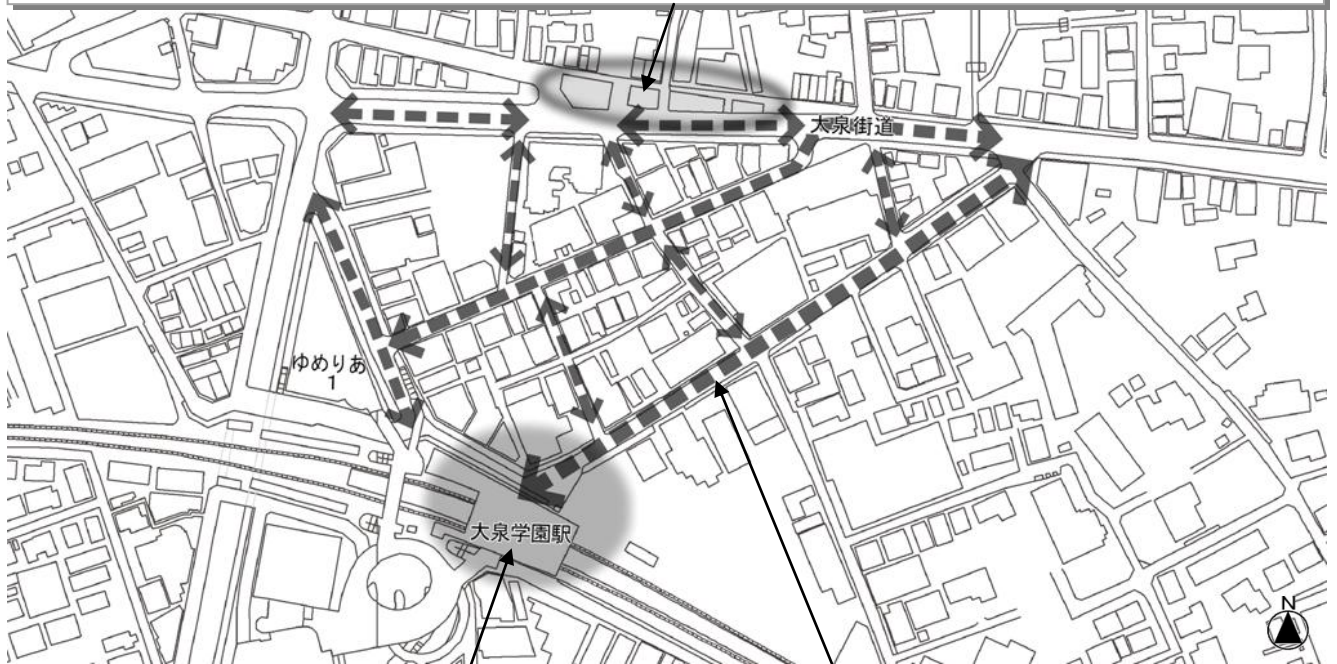
今年度は以下の3項目について、積極的に検討を行いました。

①大泉街道歩道部分の整備について

大泉街道の歩道部分に関しては、東京都との協議の結果、来年度以降に現在の植栽部分を地元の意見を踏まえた形で整備することとなりました。

懇談会では、どのような整備が良いかについて、一年間かけて話し合いを進めてきました。

- ・憩いと潤いのある歩行空間にしてほしい。
- ・歩行中に休憩ができる施設(ベンチ等)の設置を希望する。ユニバーサルデザインに配慮した、誰もが使いやすい形が良い。
- ・面白みのある柔らかなイメージのデザインが良いのではないか。



②再開発で整備する駅前デッキについて

再開発事業で整備する駅前デッキのデザインについては、9~12月の間に集中的に意見交換を行いました。

- ・デッキ部分は段差や勾配などの高低差を無くした計画にしてほしい。
- ・ユニバーサルデザインに配慮してほしい。
- ・まちを印象付けるところなので、アニメを使ったりしてインパクトを重視した計画にしてほしい。

③アニメを使ったまちづくりについて

アニメを使ったまちづくりについては、5・6月と1・2月にどのような方向で進めていくか話し合いを行いました。来年度も引き続き意見交換をしてまいります。

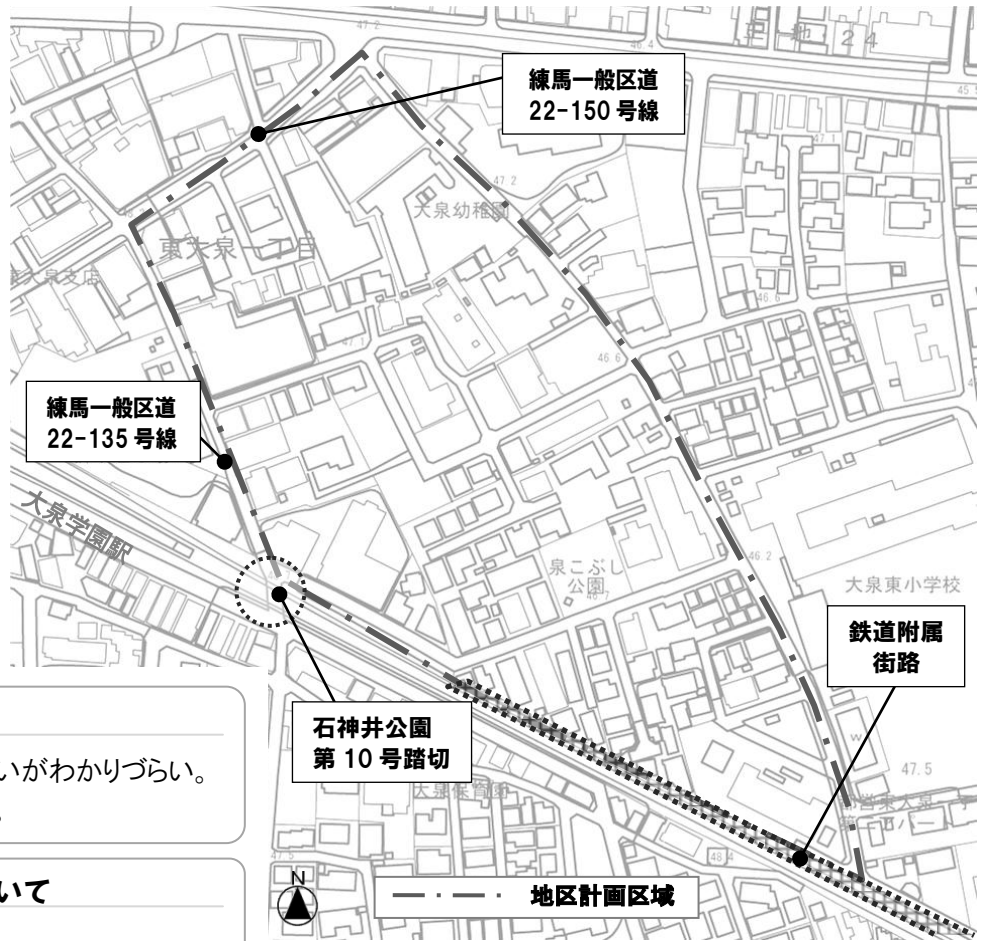
- ・歩道に移動可能なものを置くのはどうか。(ローテーションするなどして、変化をつける)
- ・たくさんの先生に色々なキャラクターを出してもらい、どの年代の人にも楽しんでもらう。
- ・通りの名前をアニメにちなんだものにするのはどうか。

○ 大泉学園駅北口東地区（住宅ゾーン）の地区計画原案説明会が行われました ○

平成24年1月17日（火）の午後7時から、練馬区立勤労福祉会館にて、地区計画の原案説明会を行いました。当日の意見は、下記に概略をまとめましたのでご覧ください。

今後、頂いた意見を参考に都市計画決定に向けた手続きを進めてまいります。

なお、説明会当日の住宅ゾーンにおけるまちづくり計画とルール案の資料は、大泉学園駅北口地区まちづくりニュース（2011年冬号②）をご参照ください。



敷地面積の最低限度について

- ・現在 110 m²未満の土地の取扱いがわかりづらい。
- ・相続が起きた場合に困らないか。

垣またはさくの構造の制限について

- ・生垣やフェンスは防犯上不安定。
- ・生垣を管理しない所有者がいるので困る。

壁面の位置の制限について

- ・資料にある建物の立面図に日影規制が加味されていないのは疑問だ。
- ・壁面後退を設定した理由が路線ごとに不公平だ。
- ・壁面後退部分は区が買収すべきだ。
- ・壁面後退した建物のガラスの飛散が心配だ。

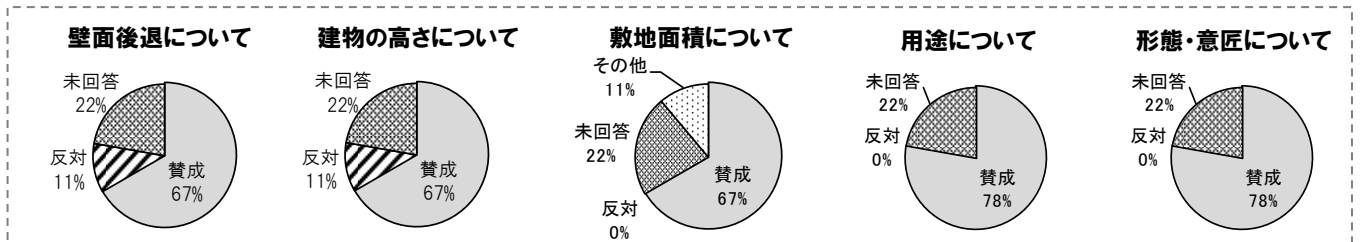
その他

- ・住民合意の基準が明確でない。
- ・用途の見直しを検討していないのは遺憾だ。
- ・再開発事業のための地区計画という気がする。
- ・鉄道附属街路の進捗について聞きたい。
- ・私道の管理は課題が多い。
- ・踏切(石神井公園第10号踏切)周辺の整備については今後も情報が欲しい。

○ 区道 22-135 号線沿道の意向把握調査の結果についてご報告いたします ○

- ・調査期間:平成22年10月～平成23年11月
- ・調査方法:個別訪問、郵送
- ・調査対象:区道 22-135 号沿道地権者

(集計単位:敷地数)



◆お問い合わせ先

《事務局》練馬区 環境まちづくり事業本部

都市整備部 西部地域まちづくり課 池上、伊藤、多賀

TEL 03(5984)4753 [直通]

E-mail seibu02@city.nerima.tokyo.jp